

海外留学 秋募集要項

(2016年10月締切分)

～2017年春出発／2017年秋出発プログラム～
早稲田大学 留学センター

◆目 次◆	ページ
1. 対象プログラム概要	p. 2
2. 出願資格	p. 4
3. 選考スケジュール	p. 7
4. 出願方法	p. 9
5. 選考について	p. 14
6. 留学期間について	p. 17
7. 費用について	p. 18
8. 海外留学奨学金	p. 19
9. 査証（ビザ）取得について	p. 22
10. 留学中の単位について	p. 22
11. 危機管理について	p. 23
12. 出願準備 チェックリスト	p. 24

◆出願に際しての注意点◆

- ❑ この冊子に書かれていることを熟読し、プログラムリストの内容をよく確認、理解した上で出願してください。
- ❑ プログラム候補者となった後は、原則として辞退することはできません。正当な理由なく辞退した場合、それ以降の留学センター海外留学プログラム（短期プログラムを除く）への応募資格が失われます。
- ❑ プログラム候補者となった後においても、次のような場合は渡航直前や渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。
 - 学業不振や、必須となっている準備講座の参加姿勢が悪い場合
 - 書類提出の締め切りを守らない、必要な手続きを行わない場合
 - オリエンテーションへの出席状況が著しく悪い場合
 - 留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合
- ❑ 各学部・研究科で独自に行われている箇所間協定プログラムへの出願については、直接所属学部・研究科の事務所に確認してください。

1. 対象プログラム概要

(1) プログラム名称

①Double Degree Programs (以下 DD)

早稲田大学在学中にダブルディグリーのカリキュラムを提供する大学へ留学し、所定の要件を満たせば、卒業する際に早稲田大学の学位と留学先大学所定の学位の両方を取得できるプログラムです。留学先大学におけるダブルディグリー課程修了のためには、外国語に関する高度な読解力、理解力、会話力が求められるため、参加希望者の語学力については特に厳格な審査を行います。なお、プログラムによって、対象学部・研究科や期間が異なります。

②Exchange Programs (以下 EX)

大学間あるいは箇所間の交換協定に基づき留学する制度です。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります。最初から比較的高い語学力が要求され、現地の学生と共に通常科目を履修するプログラムが一般的です。ただし、一部外国語学習を中心としたプログラムもあります。人数枠は通常各校1～3名です。一部のプログラムでは、留学中の科目履修、住居手配等において、他の留学生よりも優先されるなどの利点があります。学費は原則として早稲田大学に支払い、留学先大学の学費は免除されます。

③Customized Study Programs (以下 CS)

留学先大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するプログラムです。最初から通常科目を履修できるプログラムと、外国語学習を中心としながら、語学レベルに応じてテーマに基づいたカリキュラムを履修するプログラムの大きく分けて2種類があります。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります。学費は原則として早稲田大学のものは免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィーを支払います。

(2) プログラム種別

上述の①～③のプログラムはさらに、以下の2種類に分類されます。

- **Regular Academic Programs (RA)**

留学先大学の通常カリキュラムの中で、現地学生と共に通常科目を履修します。

- **Language Focused Programs (LF)**

留学先大学では外国語を中心として学習しますが、一部、通常科目を履修することが可能な場合もあります。

《組み合わせ例》

プログラム名称	プログラム種別	略称	期間※ ¹
Double Degree Programs (DD)	Regular Academic Programs (RA)	DD	1Y-2Y※ ²
Exchange Programs (EX)	Regular Academic Programs (RA)	EX-R	1Y
	Language Focused Programs (LF)	EX-L	1S
Customized Study Programs (CS)	Regular Academic Programs (RA)	CS-R	1Y
			1S
	Language Focused Programs (LF)	CS-L	1Y
			1S

※¹ 1Y = 1 year (1 学年間)、1S = 1 semester (1 学期間)

※² 留学先の大学により留学期間が異なります。

(3) 特別プログラム

■グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム (GLFP)

- ・ **対象者：**学部生（1年生中心）
- ・ **募集人数：**全体で15名程度
- ・ **期間：**2017年8・9月～2018年5・6月
- ・ **対象大学（2017年度）：**コロンビア大学、シカゴ大学（新規）、ジョージタウン大学、ジョンズ・ホプキンス大学、カリフォルニア大学バークレー校、ワシントン大学（シアトル）
- ・ **プログラムの特徴：**
米国名門大学との協働により、2012年度からスタートした交換留学プログラムです。1年間の海外留学に加え、留学前の留学準備講座・準備コース、帰国後には米国から早稲田大学に留学するGLFP参加学生と共に学ぶ1年間の日米共同ゼミやグローバル・リーダーシップ・フェローズ・フォーラムなど、特別な教育カリキュラムが組まれており、学部4年間を通じてのプログラムであることが大きな特徴です。
- ・ **費用：**
学費および別途費用はEXの内容に準じますが、GLFPに参加する学生への、留学補助として、早稲田大学指定の往復航空券が支給されます（外国諸税、諸手数料等は自己負担）。

■AIMS7 プログラム

- ・ **対象者：**
 - ①すべての学部の正規学生（学部生対象）
 - ②国際教養学部の学生は、出発時に3セメスター以上を早稲田大学で履修していること（国際教養学部以外の学生は所属学部事務所に留学に関する条件を確認）
 - ③2017年度秋学期の留学終了直後（2018年3月）に卒業予定の者は対象外
- ・ **期間：**
1 semester（2017年度秋学期）※プログラムは3 semester連続、内1 semesterが留学
- ・ **募集人数：**25名（各校5名前後）
- ・ **対象大学：**
マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学
- ・ **プログラムの特徴：**
 - ①文部科学省の「大学の世界展開力強化事業～海外との戦略的高等教育連携支援～（AIMSプログラム）」に採択された「AIMS7多言語・多文化共生プログラム」です。
 - ②多言語・多文化共生社会における、コスモポリタンの育成を目的としています。
 - ③英語による専門科目と現地語を学ぶ語学科目、共同ゼミを履修し、合計で32単位を修得すると、AIMS修了証が取得できます。
※プログラムの詳細については、ホームページをご覧ください。
<https://www.waseda.jp/sils/jp/aims/>
 - ④AIMS7プログラムは文部科学省の補助金授業であり、派遣学生として選抜された後は、AIMS7所定の全課程に参加し、修了証書の取得を目指すことを十分理解したうえで出願してください（詳細は出願必要書類の「AIMS7プログラム専用誓約書」を参照すること）。
- ・ **費用：**
 - ①日本から渡航国までの渡航費用（往復航空運賃）、留学先での宿舍費が給付されます。
 - ②要件を満たす学生には、日本学生支援機構あるいは早稲田大学の奨学金が給付されます。
 - ③留学中の学費については、EXと同様、早稲田大学の所属学部を支払います。

■Advanced Scholars' Program

- ・ **対象大学：**
イェール大学（Y-VISP/CS-R）、オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ（CS-R）
オックスフォード大学セントピーターズ・カレッジ（CS-R）

2. 出願資格

※下記の(1)～(3)を満たさない場合は、候補者として選出されません。

(1) 出願資格

留学センターの海外留学プログラムへの出願資格は、プログラム出願時および留学期間中を通して、本学の学生（正規課程）として在籍し、学業成績・人物ともに優秀な者であること。加えて、出願しているプログラムの出願要件を満たしている（大学院生、学部生、学年、国籍などが限定されているものがあります）ことが条件となります。

【注意点】

- 出願するにあたり事前に所属学部・研究科に出願の可否について確認してください。
- 出願先によっては、出発時に早稲田大学で4セメスター履修していること等、別途規定が設けられている場合もあります。プログラムリストに記載された出願要件をよく確認の上、出願してください。
- 出願先によっては、二重国籍を保有する学生を受け入れない大学もあります。該当する可能性のある方は、必ず保護者に二重国籍の有無を確認してください。その上でプログラムリストでの国籍条件をよく確認し、出願してください。
もし、二重国籍を保有しているにも関わらず、留学センターに届け出ずに受入れ不可のプログラムに出願し、候補者として選出された場合でも、ビザの手続きをする際に二重国籍であることが判明します。その場合、ビザが発給されず、留学できないばかりでなく、それ以降の留学センタープログラムへの出願資格が失われます。
- 出願時に学部4年生で大学院に進学を予定している出願者については、出願資格について事前に所属学部、および進学を希望している研究科に確認してください。また留学センターにも出願時にその旨連絡をしてください。
- 転部した学生は新しい学籍番号を必ず留学センターに報告してください。
- 人間科学部 e スクール（通信教育課程受講者）はカリキュラムの関係上、出願資格を有しません。

◆国際教養学部の場合◆

- 国際教養学部の学生は、以下の例外を除き、出発時に3セメスター（3学期間）以上を早稲田大学で履修していることが必要です。
<例外>
4月入学の学生で在籍1学期目に交換留学プログラムに出願する場合
出願から半年後に出発可能な、アメリカの Portland State University CS-L(1Y)に出願する場合は、早稲田大学で出発時に2セメスター（2学期間）以上履修していれば参加可能です（p18 参照）。
- 国際教養学部の学生が留学を終了した直後の学期末にそのまま卒業することは原則としてできません。
- 1セメスター（1学期間）のプログラムは、国際教養学部（SP1 学生）において必須とされている1学年間の海外留学の条件を満たしませんので注意してください。
- AIMS7 プログラムについては、留学期間が1セメスターであっても留学前後も含めた合計3セメスターにまたがるカリキュラムを修了すれば1年間の海外留学の条件を満たすことができます。

(2) 語学能力

① 英語プログラム

原則、留学先大学が定める語学能力の証明が必要になります。英語プログラムの場合、出願先の要求スコアを超えた TOEFL のオリジナルスコアカード(Examinee Score Report)や IELTS の Test Report Form を提出できることが出願条件です。

【注意点】

- 複数のプログラムに出願する場合、プログラム毎に定められた語学要件を満たした語学能力証明書を提出する必要があります。
(例) A 大学は TOEFL iBT60、B 大学は IELTS5.0 を要件として定めている場合、A 大学と B 大学を併願する場合は TOEFL60 点以上と IELTS5.0 以上の 2 つのスコアを提出する必要があります。
- 同じプログラムであっても、留学先大学で所属する学部によって、さらに要件が細かく指定されているものもあります。プログラムリストに掲載している要件(スコア)は、そのプログラムに出願できる最低基準のものです。留学先大学の特定の学部や特定のプログラムへの参加を検討している場合、プログラムオーバービューに載っている個々の要件を必ず確認してください。

② 非英語プログラム

各種語学能力証明書(原本)の提出が求められているプログラム(主に EX-R プログラム)に応募する場合は、原則として要求レベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本を提出できることが出願条件になります。

EX-R プログラムのうち、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、または要求されている語学能力を証明する公的試験のスコアカード/証明書の原本を提出できない場合は、**対象者に面接試験を実施**のうえ、出願者の語学力を判定します。面接試験の詳細については、別途該当者に連絡します。

【注意点】

- 併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません。
- 一部の非英語プログラムでは語学初級者でも応募可能な Language Focused Programs (LF) があります。このプログラムは面接試験の対象ではありません。

③ 留学先から求められる語学能力・語学プログラム

校内選考の際に留学先から求められる語学要件を満たしていても、留学先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。また、非英語圏に留学する場合にも、語学力が十分でないと、留学先の大学の判断により、語学コースへの参加を求められることがあります。

その際、語学コースに参加するための費用が、プログラム(CS の場合)に参加する場合に支払うプログラムフィーに含まれていないこともありますので注意してください。EX の場合でも、語学コースや特別なコースに参加する場合、早稲田大学学費等の支払いに加えて、現地で別途追加費用の支払いが必要な場合があります。

④ 特定プログラム

留学センターでは、外務省の海外安全 WEB ページにおいて、渡航の延期、中止、または退避勧告が出ている国・地域に応じて、プログラムの募集や実施の可否を検討しています。

外務省の海外安全 WEB ページの情報を鑑み、今回募集するプログラムのうち、留学センターは特定プログラムとして募集する対象大学を設定しています。また、特定プログラム対象大学に出願する場合は、以下の要件を満たし、所定の書類を提出する必要があります。特定プログラムに指定された大学は以下の URL で確認してください。

【対象大学】

https://www.waseda.jp/inst/cie/assets/uploads/2015/08/16fall_restrictions.pdf

【出願要件・注意点】

- 出願の際、早稲田大学で 4 semester 修了している(3 年生以上である)もしくは大学院生であることが出願要件です。
- 書類提出時に、指導教員による推薦状を提出してください(p14 参照)。
- 志望プログラムに応じて、11 月上旬に面接試験を行います(p16 参照)。

(3) 必要とされる GPA

プログラムによっては GPA が要求されます。MyWaseda より「成績照会」内の各科目の成績を各自確認し、計算してください。学内選考時、GPA が留学先大学の要求を満たしていない場合は選考対象外となります。

学内選考で使用する GPA の計算式は以下の通りです。この計算式は留学センターが海外留学学内選考用に独自に定めたものです。学部・研究科での算出方法と異なりますので、2010 年度以降に入学した方の単位修得状況の照会画面に表示される GPA の数値とは異なります。

$$\{ (4.0 \times A^+ \text{取得単位数}) + (3.5 \times A \text{取得単位数}) + (3.0 \times B \text{取得単位数}) + (2.0 \times C \text{取得単位数}) + (0 \times F, G, H \text{等単位数}) \}$$

総履修単位数（卒業算入科目として登録した単位数の合計）

※総履修単位数とは取得単位数と F、G 等となった科目の単位数を合算したものをいう。

成績評価と成績表記の関係は以下の表を参照してください。

評価（素点）	学内選考で使用する成績表記
100～94	A ⁺ (4.0)
93～90	
89～87	A (3.5)
86～83	
82～80	
79～75	B (3.0)
74～70	
69～60	C (2.0)
59～50	F [※]
49～0	G [※]

【注意点】

- F と G の範囲および H は各学部、研究科で異なります。
- P と N は GPA 計算には含めません。
- 学部の 1 年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPA が算出できない場合は、GPA 要件のあるプログラムへは出願できません。GPA 要件の無いプログラムに出願することは可能ですが、その場合は高校の英文成績証明書を提出してください。

3. 選考スケジュール

日程	時間	内容・会場						
10月3日(月)～ 10月8日(土)	後日詳細掲載 予定 10/7: 12:20-17:30 10/8: 10:30-17:30	秋の留学ウィーク 会場 イベントにより異なるため、CIEのWEBページを参照すること 10/7,8の留学フェアは国際会議場にて開催						
10月11日(火) 10月12日(水)	18:30～20:00 (予定)	グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム(以下GLFP) 出願希望者対象説明会 会場 22号館1階 Waseda Global Gate セミナールーム						
10月11日(火) 正午～ 10月23日(日) 正午締切	左記時間に 注意	WEB出願登録 ・MyWaseda「申請フォーム・アンケート」→「申請フォーム入力」にて。 ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。前日までに希望校を検討して登録するようにしてください。 ・ 終了時間に注意 締切後の登録はいかなる理由があろうと受け付けません。						
10月15日(土)	後日連絡 ※遅刻厳禁	英語DDプログラム・Advanced Scholars' Program出願者対象 エッセイテスト GLFP出願者対象エッセイテスト 中国語DDプログラム出願者対象エッセイテスト ・対象プログラムに出願するためには受験必須です。WEB出願登録の締め切り前ですが、応募予定の場合は必ず受験してください。 ・持ち物：学生証、筆記用具 ・会場の場所・時間をご確認のうえ、遅れることのないよう余裕をもって会場に来るようにしてください。 会場 後日連絡						
10月18日(火)	12:00～17:00	GLFP 志望理由書提出(英語記述) 会場 22号館1階 Waseda Global Gate						
10月20日(木)		WEB 出願中間登録状況発表 ・留学センターWEBページ「お知らせ」にて						
10月26日(水)・ 10月27日(木)	10:00～17:00	GLFP 出願必要書類提出 ・単願、併願、所属学部にかかわらず、GLFP 出願者はこの2日間で提出してください。 会場 22号館1階 Waseda Global Gate						
10月26日(水)～ 10月28日(金)	10:00～17:00	出願必要書類提出 会場 22号館1階 Waseda Global Gate ・指定された学部・日時に提出することを原則としますが、都合の悪い場合は指定以外の日程での提出も可能です。 ・最終日は大変混み合い、待ち時間が最大1時間程かかることもあります。締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがありますので、余裕をもって早めに提出するようにしてください。 <table><tr><td>26日(水)</td><td>人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部(SP1)</td></tr><tr><td>27日(木)</td><td>政治経済学部、法学部、教育学部、商学部、文化構想学部</td></tr><tr><td>28日(金)</td><td>社会科学部、国際教養学部(SP2)、文学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、各研究科</td></tr></table>	26日(水)	人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部(SP1)	27日(木)	政治経済学部、法学部、教育学部、商学部、文化構想学部	28日(金)	社会科学部、国際教養学部(SP2)、文学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、各研究科
26日(水)	人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部(SP1)							
27日(木)	政治経済学部、法学部、教育学部、商学部、文化構想学部							
28日(金)	社会科学部、国際教養学部(SP2)、文学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、各研究科							

日程	時間	内容・会場
11月2日(水)～ 11月18日(金)		学部・研究科留学適性判断 ・面接等、所属事務所により連絡があります。 ※ 内容は各所属学部によって異なります。 ※ 面接を実施しない場合、連絡はありません。 ※ AIMS7 プログラム出願者は、必要に応じて英語の面接が実施される場合があります。対象者には個別に連絡します。
11月1日(火)		GLFP書類選考結果発表 ・メールにて個別通知
11月上旬	後日連絡	特定プログラム面接試験
11月12日(土)	後日連絡	GLFP面接試験 ・書類選考通過者のみ対象 DD プログラム面接試験 ・中国語・英語 DD プログラム全応募者対象 Advanced Scholars' Program 面接試験 非英語面接試験 ・非英語 EX-R プログラム応募者対象 ※対象者には別途連絡をします。
11月14日(月)～ 11月18日(金)		GLFP 選考結果発表(仮) ・メールにて個別通知
11月21日(月)～ 11月23日(水)		GLFP 最終選考結果発表 ・メールにて個別通知
12月2日(金)	13:00以降～	学内選考結果発表 ・MyWaseda「お知らせ(個人宛・所属事務所から・重要なお知らせ)」にて
12月8日(木) 予定		留学プログラム候補者決定直後オリエンテーション ・必ず出席してください(GLFP 含む)。 ・当日は出欠を確認します。 ※ スケジュールは変更になる場合もあります。
12月上旬～中旬		GLFP 候補者オリエンテーション ・GLFP に特化した内容となります。 ・GLFP 候補者は2つのオリエンテーションに必ず出席してください。
2017年3月より 順次		【GLFP】 留学準備講座・留学準備コースの受講(詳細後日連絡) 【英語DDプログラム、Advanced Scholars' Program】 アカデミック英語講座(上級)(詳細後日連絡) 【中国語DDプログラム】 中国語ライティング講座の受講(詳細後日連絡)

4. 出願方法

(1) WEB 出願登録

今回の秋募集に出願するには、まず WEB 出願登録を行っていただきます。以下の通り、MyWaseda (<https://my.waseda.jp/login/login>) にログインし、画面左側のメニューにある「申請フォーム・アンケート」の「申請フォーム入力」から、出願者本人が WEB 出願登録を行ってください。

WEB 出願期間： 2016 年 10 月 11 日（火）正午～10 月 23 日（日）正午
申請フォーム名： 海外留学秋募集(2016 年 10 月締切分) WEB 出願登録



【注意点】

- WEB 出願が完了した学生を対象に行う出願必要書類提出(2016 年 10 月 26 日(水)～10 月 28 日(金) 10:00～17:00)をもって、今回の海外留学秋募集への正式な出願となります。WEB 出願登録だけでは正式な出願者とは見なしません。
- WEB 出願登録の締切は 2016 年 10 月 23 日(日) 正午までです。それ以降のデータ送信は無効となります。また、最終日の 10 月 23 日(日)はアクセスが集中し、登録エラーが多く発生する可能性がありますので、余裕を持って登録してください。
- 入力した内容を変更したい場合は、入力内容を変更した後に「登録」ボタンをクリックしてください。一番新しく入力したものがデータとして登録されます。WEB 出願期間中は何度でも変更が可能です。入力期間経過後の変更はできませんので注意してください。また、必須回答項目につきましては、全項目を回答したうえで登録を行ってください。
- 入力に時間を要する場合は入力データの消失を防ぐため、15 分に 1 回を目安にデータ更新(「登録」)をするようにしてください。
- 申請内容確認のメールが登録後すぐに送信されます(5 分以内)。届いたメールは入力した項目の確認のため印刷し、内容に間違いがないか確認し、出願手続き完了時まで大切に保管しておいてください。メールの設定によっては、文字化けする場合がありますが、メールの受信日、受信者名、およびプログラムコードが確認できれば登録されたデータ上は問題ありませんのでご安心ください。メールが届かなかった場合は登録エラーですので、再度登録を行ってください。
- 入力内容・入力確認に関するお問い合わせについては応じられませんので 募集要項等をよく読み、自分で判断した上で入力してください。
- システム上の問題等のお問い合わせについては、MyWaseda のグローバルメニュー「IT サービス」の

「ヘルプデスク」、「問い合わせ/Support」というリンクから行なってください。ただし、緊急の場合や問い合わせ後数日経過しても不具合が修正されない場合などは、留学センターまでご連絡ください。

- WEB 出願に際し入力された情報はプログラム運営上、留学センターおよび所属事務所が出願学生やその保証人と連絡をとる必要がある場合にのみ利用され、その他の目的には利用されません。

具体的な入力が必要な以下の①～⑤の項目を事前に準備しておく、スムーズに出願登録手続きを行えます。

① 個人情報

- ローマ字（半角大文字）（原則：パスポートと同じ表記、ない場合は通称表記）による氏名、国籍、電話番号、携帯電話、メールアドレス、緊急連絡先氏名と電話番号。
- 留学先の大学によっては、日本国籍以外の国籍を所有する学生の留学を認めていない場合があります。二重国籍をお持ちの方は、必ず質問項目に記入してください。

② 志望プログラム

- 条件を満たしたうえで、**最大で第7志望まで**選択することができます。あらかじめ志望プログラムを確定したうえで検索画面から選択して、「選択確定」ボタンで確定してください。
- 今期の募集対象校の最新情報は、海外留学プログラムリスト（2016年10月締切分）
(<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/programlist/list>)
にて確認してください。
- GLFPを志望する場合は必ず第1志望で選択してください。他プログラムとの併願は可能ですが、GLFPが第1志望以外で選択されていた場合は、GLFPへの出願が無効となります。出願時点では、あくまでもGLFPとしての出願になります。志望校については出願必要書類のGLFP専用英語による志望理由書の中で志望動機と共に述べてください。ただし、対象校6校のうち、志望校以外への候補者となることもあるので、あらかじめその点を理解の上、出願を行ってください。
- 一つの大学に複数のプログラムがある場合、それぞれプログラムコードが異なります。プログラムの選択をする際には、大学名のみではなく、プログラム内容を含め、コード番号の選択に間違いのないように注意してください。
- オレゴン州立大学連盟（IE3 Global）を志望する場合、3つのプログラムのうち、自分が取得しているTOEFLスコアの範囲のプログラムを選択してください。（①TOEFL iBT 61-70、②TOEFL iBT 71-79、③TOEFL iBT 80以上）例えば、TOEFL iBT 75を取得している場合は、②に出願します。①、③への出願はできません。誤って①、③を志望した場合には、選考の対象外となりますので注意してください。
- 慎重に検討したうえ、なるべく多くの志望校をWEB出願登録時に入力するようにしてください。ただし、候補者として選ばれた後は辞退が認められません。出願する際には、十分に注意して手続きを行ってください。

③ 【英語】語学能力に関する設問

- 出願書類（P.12-13）の「③公的試験証明書（TOEFL iBT/PBT/ITP（Examinee Score Report）・IELTS（Test Report Form）など）」を熟読のうえ、出願するプログラムの要件に該当する公的試験の証明書を準備してください。
- ここに入力されたスコアと同一の公的証明書を出願書類提出時に提出してください。

④ 【非英語】語学能力に関する設問

- 今回募集対象となる言語種別を選択してください（複数選択可）。
- 語学学習状況・学習計画報告に語学学習歴（学習年数〇年、学習機関〇〇、週〇時間〇コマ、のべ学習時間〇時間）と、現在および今後の学習計画、その他言語学習や能力に関しての特記事項があれば記入してください。
- 該当言語で行われる授業やプログラムについていけるレベルを有する客観的な証明として、「各種語学能力試験等公的試験のスコアやレベル（HSK、DELTA、DELE など）」をできるかぎり提出してください。

⑤ 学習・研究計画書

- 制限字数以内で記入してください。和文と英文のいずれでもかまいません。
- 英語 DD プログラム、Advanced Scholars' Program、AIMS7 プログラムに出願する学生は必ず英語で記入してください。
- 学習・研究計画書は留学先大学決定後に必要に応じて先方に直接送付されることがあります。

◆問題◆

次の問題に対して、自分自身でよく考え、自らの言葉で **1200 字以上 2000 字以内** で記述しなさい（英文の場合は **600～1000 words** 程度）。和文・英文ともに、細かな文法的なミス等は、評価の対象とはしないので、必ず自分自身で書き上げること。

問：興味のある学術分野と絡めて、あなたが留学を目指す目的を説明しなさい。

⑥ 【共通】WEB 出願にあたっての同意

以下の 4 点について同意が必要となります。

1. WEB 出願締切後の志望プログラム、志望順位の変更はできないこと。
2. 海外留学プログラムの候補者として選抜された後は辞退しないこと。
3. 海外留学プログラム候補者として選抜された後は、留学予定大学の変更を申し出ないこと。
4. やむを得ない事情で、辞退を申し出る場合、辞退の手続きおよび可否の判断に関しては留学センターの指示に従うこと。

(2) 出願必要書類提出

海外留学秋募集の出願は、WEB 出願登録を行い、出願必要書類の提出をもって完了し、正式な出願者として選考されます。

書類提出期間： 2016 年 10 月 26 日（水）～10 月 28 日（金）

（時間は各日ともに 10：00～17：00）

提出場所： 早稲田キャンパス 22 号館 1 階 Waseda Global Gate

【注意点】

以下の通り、学部ごとに指定された日時に提出することを原則とします。ただし、都合の悪い場合は指定以外の日程での提出も可能です（事前連絡不要）。

26 日（水）	人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部（SP1）
27 日（木）	政治経済学部、法学部、教育学部、商学部、文化構想学部
28 日（金）	社会科学部、国際教養学部（SP2）、文学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、各研究科

- 西早稲田、所沢、本庄、北九州キャンパスの学生は所属事務所にて **10 月 26 日（水）～10 月 28 日（金）** の期間内であれば提出可能です。
- 最終日は大変混み合い、提出受付までに最大 1 時間程かかることもあります。締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。余裕をもって提出するようにしてください。
- 志望するプログラムへの出願に際し必要となる書類を 以下①～⑩の順に揃えて提出してください。 提出書類の紙サイズは、可能な限り **A4 サイズ** でご用意ください。なお、一旦提出された書類の返却は行いません。また、提出前に、自分用の控えとしてコピーを忘れずに取ってください。
- GLFP 単願の場合は、①～④の書類を全て揃えた上で、所属学部にかかわらず、10 月 26 日（水）・27 日（木）に出願窓口（22 号館 1 階 Waseda Global Gate）に提出してください。また、⑤の英語に

よる志望理由書は10月18日(火)のみの提出となるのでご注意ください。

- GLFP とその他プログラムを併願する場合は、併願プログラムに必要な出願書類一式と、GLFP 出願用に『①、②、③のコピーを1部ずつと④』の一式を揃えた上で同じく所属学部にかかわらず、10月26日(水)・27日(木)に出願窓口(22号館1階 Waseda Global Gate)に提出してください。

全員提出

① 海外留学プログラム誓約書3部(原本1部とコピー2部、両面印刷、裏面も記入)

- 留学センターのWEBページからダウンロードした所定の誓約書を使用し、必要事項を記入して提出してください。保証人の方の署名捺印も必要、日付も忘れずに記入してください。
- 海外留学プログラム誓約書には裏面もありますので、必ず記入の上、**両面印刷**で準備してください。学生本人、保証人の方両方の署名捺印が完了した後にコピーを取り、原本とともに提出してください。
- 外国籍の方で印鑑がない場合は、記名に加え署名が必要です(保証人欄含む)。
- GLFP プログラムに出願する場合は共通のプログラム誓約書3部に加え、それぞれ別途専用の誓約書があります。共通の海外留学プログラム誓約書のコピー1部に加え、GLFP 専用誓約書3部(原本1部とコピー2部)の合計4部が、単願・併願にかかわらず必要となります。

② 英文成績証明書(原本1部)

以下の表に従い、必要な成績証明書(すべて英文)を提出してください。

学部生	学部の証明書 または 高校の証明書
修士課程	学士課程の証明書 および 修士課程の証明書
博士課程	学士課程の証明書 および 修士課程の証明書 および 博士課程の証明書

- 修士1年生で修士課程の成績が提出できない場合は、学部の成績を対象とします。
- 博士1年生の場合も、博士課程での成績が提出できない場合は、学士～修士までの成績が対象になります。
- 国際教養学部の学生は、提出の必要はありません。事務所経由で留学センターに提出されます。
- 学部4年生で、早稲田大学の大学院に進学が決まっている学生は、**大学院合格通知書**も提出してください。
- 学部の1年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPAが算出できない場合は、GPA要件のあるプログラムへは出願できません。GPA要件の無いプログラムに出願することは可能ですが、その場合は**高校の英文成績証明書**を提出してください。
- 英文成績証明書は自動証明書発行機から入手することができます。
<https://www.waseda.jp/navi/services/opentime-certificates.html>

英語プログラム(GLFP含む)出願者

③ 公的試験証明書(原本1部)

TOEFL iBT、ITP (Examinee Score Report) / IELTS (Test Report Form) など

- 出願先大学が定める要求スコアを超えた TOEFL のオリジナルスコアカード (Examinee Score Report) や IELTS の Test Report Form を提出してください。プログラムによっては、Section Score (Reading, Listening, Speaking, Writing) 別の要求スコアが設けられている場合もあります。
- 出願の際、TOEFL/IELTS のスコアは **2014年10月29日以降に受験したものを提出してください。**TOEFL/IELTS の有効期限は **2年間**であり、学内選考後留学先大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、**再受験が必要な場合もありますので注意してください。**その際、再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、留学先大学からの受入許可が出ない場合もあります。その場合、別の大学への出願はできません。
- TOEFL-iBT および IELTS については、WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付

けます。スコアや名前が切れないように気をつけてください。ただし、後日そのプリントアウトと同一のスコアカードを必ず提出してください。**最終的にオリジナルスコアカード/Test Report Formの提出がない場合は、出願そのものが無効となります。**

- TOEFL の Examinee Score Report は、オンラインでのテスト申込時に My Home Page のスコア通知設定 (Score Reporting Preference) ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。
- IELTS の Test Report Form は、受験日から 13 日目に発行され、受験者に郵送されます。その後 30 日間、無料で提出機関への郵送を設定できますが、出願先の大学や留学センターへの送付はせず、他の書類と合わせて提出してください。
- GLFP 出願の場合は、各受入大学が要求するスコアに達していない場合も受け付けます。ただし、学内選考後の留学先大学への出願時 (2017 年 1~2 月) までには、必ず各大学の要求レベルに達したスコアカードの原本を提出することが条件です。
- スコアカードは原則として返却しません。

GLFP 出願者

- ④ GLFP 専用誓約書 3 部 (原本 1 部とコピー 2 部)
- ⑤ GLFP 専用 英語による志望理由書 (原本 1 部とコピー 1 部)

【志望理由書提出日】

日時： 10 月 18 日 (火) 12:00~17:00

場所： Waseda Global Gate GLFP 専用ブース (22 号館 1 階) ※後日受付不可

【提出方法】

以下のリンクから専用のフォームをダウンロードの上、各設問の下に設置された枠内に、それぞれの回答を記載。

【専用フォーマットダウンロード】

GLFP サイト内 出願方法・選考日程/出願条件・出願書類ページにあるリンク

http://www2.cie-waseda.jp/glp/word/GLFP_Statement_of_Purpose_in_English.docx

AIMS7 出願者

- ⑥ AIMS7 プログラム専用誓約書 3 部 (原本 1 部)
- ⑦ 英文 GPA 証明書 (原本 1 部)

- 国際教養学部 の学生は、提出の必要はありません。

非英語プログラム出願者 (EX-L, CS のみの出願者含む)

- ⑧ 各種語学能力公的試験等の公的証明書/スコア (原本 1 部)

- 非英語 EX-R プログラムの場合は、原則として留学先大学が要求するレベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本の提出が必要です。ただし、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、およびスコアカード/公的証明書の原本を提出できない場合は、対象者に**面接試験 (11 月 12 日 (土))**を実施のうえ、出願者の語学力を判定します (併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません)。
- 学内選考出願時に所持していなくても、学内選考後、留学先大学に出願する際、要求レベルを超えたスコアカード (原本) の提出を求められる場合があります。

大学院生出願者

⑨ 海外留学募集出願 大学院生推薦状 (原本1部)

- 大学院生(修士、博士含む)で出願する方は必ず提出してください。
- 出願するにあたり、研究指導教員と留学について相談をしたうえで、研究指導教員記入欄(右上)の記入を依頼してください。また、依頼する際は学生記入欄(中央下部)をあらかじめ記入したうえで依頼してください。

特定プログラム出願者

⑩ 海外留学募集出願 特定プログラム推薦状 (原本1部)

- p5の通り、特定プログラムに出願する方は必ず提出してください。
- 出願するにあたり、指導教員と留学について相談をしたうえで、指導教員記入欄(右上)のご記入を依頼してください。また、依頼する際は学生記入欄(中央下部)をあらかじめ記入したうえで依頼してください。

5. 選考について

(1) 早稲田大学内選考と留学先大学からの受入許可

この募集要項は、早稲田大学内での選考についてのものです。この学内選考を経て候補者に選ばれた方は、早稲田大学から推薦される学生として、留学先大学に応募する資格を得たことになります。

ただし、それは留学先大学からの受入許可を100%保証するものではありません。実際に留学できるかどうかは、留学先大学の選考によって最終決定がなされますので注意してください。留学先大学への出願手続きならびに留学先大学での選考は2016年12月～2017年8月にかけて行われます。

また、候補者に選ばれた後においても準備講座の参加姿勢・学業不振・書類提出の締め切りを守らない場合・必要な手続きを行わない場合・オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合は、渡航直前や渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。

修士課程・博士課程での留学については、事前に留学先の候補として選んでいる大学の研究指導教員等からの受け入れ許可が必要な場合が多いため、あらかじめ志望する大学に打診のうえ、出願時に留学センターにもその旨連絡してください。

(2) 選考方法

出願者の志望プログラムより、以下の選考要素を総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムの候補者に選出します。

- 学業成績 (GPA)
- 語学能力 (TOEFL などの語学試験のスコア)
- 学習・研究計画書
- 書類出願用 英語による志望理由書 (GLFP のみ)
- 所属学部・研究科での留学適性判断 (方法は各所属箇所により異なる)
- 面接 (GLFP、DD、Advanced Scholars' Program、AIMS7、非英語 EX-R、特定プログラム)
- エッセイテスト (GLFP、DD、Advanced Scholars' Program)

(3) 各プログラムの選考について

① GLFP

- GLFP に出願する学生は WEB 出願を完了していなくとも、10月15日(土)のエッセイテスト (英語または日本語)を必ず受験する必要があります。エッセイテストの事前予約はありません。
- 英語による志望理由書を指定フォーマットで (p13 参照) 10月18日(火)に提出する必要があります。
- GPA が 3.0 以上であることを出願条件として、上述のエッセイテスト結果と出願書類の内容をもとに書類選考を行い、面接試験の対象者を選考します。
- 書類選考を通過した学生のみ、11月12日(土)の面接試験の対象者となります (書類選考の結果はメールにて個別に通知します)。
- 面接試験の可否は 11月14日(月)～18日(金)の間に、メールにて個別に通知します。しかし、この段階での可否は仮のものになります。所属学部留学適性判断の結果がそろったのち、11月21日(月)～23日(水)の間に最終選考結果を発表します。全プログラムの中で最も早い選考スケジュールを組んでいるため、他プログラムとの併願が可能です。
- 留学センターでは、最終選考結果発表後、GLFP 候補者全員に対して、留学準備講座と留学準備コースの受講を義務付けています。留学準備講座および留学準備コースは 2017 年春学期に実施する予定です。
- GLFP の候補者として選抜された学生は、本プログラム所定の全課程を修了する義務があります (詳細は GLFP 誓約書をご確認ください)。

② DD プログラム

- DD プログラムに出願する学生は、10月15日(土)に行われるエッセイテスト、並びに 11月12日(土)の面接試験を受ける必要があります。試験の事前予約は不要です。
- エッセイテストの結果にかかわらず、基本的には全員面接試験も受験します。

《英語 DD プログラム》

- Earlham College, DD に関しては、12月2日(金)の学内選考結果発表後、Earlham College 側の選考を経て、最終可否は1月中旬に発表予定です。
- 英語 DD プログラム (Earlham College, DD/ National University of Singapore, DD/Shanghai Jiaotong University, DD) の「仮合格者」として選抜された学生は、選抜後アカデミック英語講座 (上級) を2月7日～10日に受講する義務があります (有料)。
- 対象プログラムに参加する早大生は、対象校から高度な英語能力を要求されています。ここでの英語能力とは、TOEFL/IELTS スコアだけでははかることができないのではなく、現地で正規学生・教員とともに授業に積極的に参加、課題に取り組み、共にアカデミックな成果を上げることができる、総合的な英語力です。
- 同講座における評価と入学以降～2016年度末までの所属箇所の学業成績を確認した上で総合的な判定を行います。その結果に基づき、最終的な候補者を留学先大学に推薦します。
- 詳細は、決まり次第、受講者にメールにて連絡します。

《中国語 DD プログラム》

- 中国語 DD プログラムの候補者の発表は12月2日(金)に行いますが、この時点では「仮合格」と位置付けます。
- 中国語 DD プログラムの「仮合格者」として選抜された学生は、選抜後中国語ライティング講座を3月から7月にかけて受講する義務があります (有料)。同講座における評価と入学以降～2016年度末までの所属箇所の学業成績を確認した上で総合的な判定を行います。その結果に基づき、最終的な候補者を留学先大学に推薦します。
- 詳細は、決まり次第、受講者にメールにて連絡します。

③ Advanced Scholars' Program

- 本プログラムに出願する学生は、10月15日(土)に行われるエッセイテスト、並びに 11月12日(土)の面接試験を受ける必要があります。試験の事前予約は不要です。
- エッセイテストの結果にかかわらず、基本的には全員面接試験も受験します。
- 候補者の発表は12月2日(金)に行いますが、この時点では「仮合格」と位置づけます。
- 「仮合格者」として選抜された学生は、選抜後アカデミック英語講座(上級)を2月7日～10日に原則として、受講いただきます(有料)。
- 対象プログラムに参加する早大生は、対象校から高度な英語能力を要求されています。ここでの英語能力とは、TOEFL/IELTS スコアだけでははかることができるものではなく、現地で正規学生・教員とともに授業に積極的に参加、課題に取り組み、共にアカデミックな成果を上げることができる、総合的な英語力です。
- 同講座における評価と入学以降～2016年度末までの所属箇所の学業成績を確認した上で総合的な判定を行います。その結果に基づき、最終的な候補者を留学先大学に推薦します。
- 詳細は、決まり次第、受講者にメールにて連絡します。

《Yale Visiting International Student Program (Y-VISP)》

- このプログラムに関しては、12月2日(金)の学内選考結果発表直後、イエール大学所定の出願書類を留学センターに提出します。なお、出願書類として推薦状(2通)が必要になります。その後、2017年1月にイエール大学による面接試験(日本にてスカイプを利用予定)が行われる予定です。可否は2017年1月下旬に発表予定です。

④ 非英語プログラム (EX-R)

- 非英語の EX-R プログラムに出願する学生で、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、および出願時にスコアカード/公的証明書の原本を提出できない場合は、対象者に 11月12日(土)の面接試験を実施のうえ、出願者の語学力を判定します。
- 対象者には留学センターより事前に通知があります。
- 併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません。

⑤ AIMS7 プログラム

- AIMS7 プログラムに出願する学生は、必要に応じて、11月上旬に英語面接が実施される場合があります。対象者には個別に連絡します。

⑥ 特定プログラム

- 特定プログラムに指定されているプログラムに出願する学生は、11月上旬に面接が実施されます。対象者には個別に連絡します。

⑦ 上記以外の英語 EX・CS、非英語 EX-L・CS プログラム

- 留学センターでは、筆記試験・面接試験を行いませんが、所属学部・研究科での留学適性判断において各所属学部・研究科による面接が実施される場合があります。

(4) 学内選考結果発表の確認方法

今回の海外留学秋募集の選考結果は MyWaseda の「お知らせ」にて発表いたします。
以下の画面の通り、MyWaseda (<https://my.waseda.jp/login/login>) にログインし、中央にある「個人宛・所属事務所から・重要なお知らせ」に出願者の選考結果を通知いたします。



【注意点】

- 学内選考結果の表示期間は結果発表から3か月です。
- 一度通知を確認した通知は「お知らせ」欄には表示されなくなります。再度通知を確認したい場合は、右側の「一覧へ…」のページに移動し、「検索（既読のお知らせ参照はこちら）」より「既読」の条件を指定し、検索してください。

(5) 併願について

- 所属学部・研究科の箇所間協定によるプログラムとの併願は認められません。
- ただし、留学センターの出願書類提出期限（10月28日（金））までに、その結果が判明する場合はこの限りではありません。箇所間協定の結果が出た段階で、留学センターのプログラムは辞退する旨、留学センターに連絡をしてください。

6. 留学期間について

- 留学期間は、プログラムによって異なります。1学年間（1Y）のものもあれば、1学期間（1S）のものもあります。出願に当たっては留学期間についてよく理解した上で出願してください。
- プログラム期間の延長は原則として認められないため、留学期間終了後は必ず帰国し、所属学部・研究科にて所定の手続きを経る必要があります。
- 特別な事情を除いて、プログラムには全期間終了まで参加することが求められます。
- 留学期間中は、早稲田大学での科目履修はできません。ただし、留学終了学期が春学期の場合、春学期後半（6月中旬から7月中旬の4週間）に実施する Waseda Summer Session の科目は履修可能です。履修可能な学生には留学センターよりご案内します。
- 自己都合により途中帰国した場合、プログラムフィー、ダブルディグリー登録料、早稲田大学学費、その他留学にかかわる費用は返金されません。
- オセアニア地域のプログラム、韓国の一部のプログラム、イタリアのヴェニス国際大学（留学期間は1 semester）は、来年度春学期にも募集を行います（出発は、2018年の春学期となります）。

- アメリカの Portland State University, CS-L(1Y)には、テーマと出発時期が異なる3種類のプログラムがあります。

募集時期	プログラム名	出発時期
今回の募集	Transnational Program (TNP)	2017 年春出発
2017 年 4 月募集	Life Of Health And Sustainability (LOHAS)	2017 年秋出発
	Waseda Business Program	

7. 費用について

(1) EX プログラム (GLFP 含む)

- EX プログラムに参加する場合、早稲田大学での所属箇所の学費等を支払うことにより、留学先大学での学費が免除されます（一部プログラムを除く）。
- 宿舍費や食費（プログラムリストの”EST. ROOM & BOARD”に示されている金額）は渡航後にご自身で留学先大学に支払うことがほとんどです。また、協定校によってその項目は異なりますが、College Fee、Technology Fee、Insurance Fee、Mandatory Fee 等、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。その金額は留学先大学によって異なりますが、場合によって年間 10 万円を超える負担が必要となることがあります（特に北米の交換協定校、オレゴン州立大学連盟、カリフォルニア州立大学連盟、ニューヨーク州立大学等の協定校）。
- 延長生で交換留学にて留学をする学生については、学費の取り扱いが異なります。延長生は所属学部・研究科に確認のうえ、出願時に必ず所属事務所および留学センターに申し出るようにしてください。

(2) DD プログラム

- EX と同様に早稲田大学の所属学部の学費等を納めます。
- ただし、アール・カレッジの場合は CS プログラムと同様に、留学先大学の学費等を早稲田大学に支払うことによって、早稲田大学の学費が免除されます。
- いずれの場合も、ダブルディグリー登録料（15 万円）が別途必要になります。

(3) CS プログラム

- プログラムフィーには、現地での学費、プログラム開発・運営費（1 学年期間 10 万円、1 学期間 5 万円）などが含まれています（プログラムリストの”EST. TUITION”に示されている金額）。
- 宿舍費や食費（プログラムリストの”EST. ROOM & BOARD”に示されている金額）、また、設備費やオリエンテーション費等は渡航後にご自身で留学先大学に支払うことがほとんどですが、いくつかのプログラムでは、プログラムフィーに含めて早稲田大学に納めていただく場合があります。
- プログラムリストにある金額は、留学先大学の学費の値上げ、為替レートの変動、外国政府の財政状況や政策変更などに伴い、金額が上昇する場合があります。実際の納入は、留学先大学からの請求金額を留学センター規定レートにて日本円に換算した金額でお支払いいただきます。
- プログラムフィーは、指定期日までに留学センターの指定口座に必ずお振り込みください。
- 同じ国への留学であっても、請求金額が確定する時期によって、換算レートが変動します。
- ”EST. ROOM & BOARD”の金額には昨年度実績ベースではないものも含まれています。

8. 海外留学奨学金

- 留学センターから案内する留学のための奨学金は全て給付型（返還不要）です。
ただし必ずしも全員が受給できるとはかぎりませんので、出願する場合も留学の経費負担計画には含めないでください。
- 留学のための奨学金は、学内選考で留学候補者として選考された時点で応募可能となります（奨学金の応募はこの1度のみです）。特定の奨学金および志望順位を指定して応募することはできませんが、1度の応募で受給資格のある全ての学内奨学金に一括エントリーできます。
- 受給者発表および奨学金支給のタイミングは奨学金によって異なり、出発直前あるいは出発後になる可能性があります。奨学金の支給が帰国後になる可能性もあります。
- 奨学金の募集期間の発表および留学のための奨学金募集要項の配付は12月8日（木）の留学プログラム候補者決定直後オリエンテーションにて行います。
- 提出書類（予定）：奨学金申請書、父母の課税・非課税証明書、自己推薦書、高校の成績証明書（2016年9月入学の1年生のみ）
提出書類の詳細については奨学金募集要項を必ずご確認ください。また、2017年春出発のプログラムに参加する方は12月8日（木）に行う留学プログラム候補者決定直後オリエンテーションより前に募集を行う可能性があります。対象者には別途連絡しますので、留学センターからの連絡に注意してください。
- 海外留学秋募集（2016年10月締切分）において募集対象予定の代表的な奨学金は以下の通りです。奨学金の内容は予告なく変わる可能性があります。また、以下の要件は一部抜粋しているため、詳しくは奨学金募集要項を参照してください。

（1）WSC メンバーズ基金グローバル人材育成奨学金

「WASEDA サポーターズ倶楽部（WSC）」は、本学の教育・研究活動に伴う各種事業への財政的支援のために、年度会員から毎年度一定額を寄付金として拠出いただき、本学から各種サービスを提供する制度です。WSC メンバーズ基金グローバル人材育成奨学金は、WSC から支援を得て海外留学生に対する支援策として設立された奨学金です。

対象	早稲田大学留学センターの EX プログラムおよび DD プログラムにて留学する学部生のうち、特に成績優秀な学生（DD 学生の場合は初年度のみ給付）
奨学金	100 万円
採用者数（予定）	10 名

（2）日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）

文部科学省の外郭団体である（独）日本学生支援機構の奨学金です。

対象	早稲田大学の留学プログラムで留学する学部生・大学院生のうち、日本国籍を有する学生および日本への永住が許可されている外国籍学生
奨学金	月額 6～10 万円 ※地域によって異なる
支給期間	12 ヶ月以内
採用者数	未定 ※年度により大きく異なる可能性あり

(3) 早稲田大学学生交流奨学金

対象	早稲田大学の留学プログラムによって留学する学部生・大学院生
奨学金（予定）	25 万円
採用者数（予定）	150 名

(4) 校友会海外派遣留学奨学金

対象	早稲田大学が指定するオックスフォード大学、ケンブリッジ大学の特定のカレッジに、留学センターの留学プログラムを通して留学する学部生。海外留学に対する意欲が高く、人物が優れている者。
2017 年度対象 プログラム（予定）	・オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ（CS-R） ・オックスフォード大学セントピーターズ・カレッジ（CS-R）
奨学金（予定）	150 万円
採用者数（予定）	5 名

※ 奨学金相当額を留学先大学に直接送金する方法により給付する予定です。

(5) ハワード・ハギヤ奨学金

台湾を拠点とするシュアジョイント企業グループの創業者ハワード・ハギヤ（萩谷博）氏（1963 年第一商学部卒）による早稲田大学への寄附金により、本大学 DD プログラムにより台湾へ留学する学生および台湾から早稲田大学を目指す優秀な学生を支援することを目的として、2015 年度より新設されました。

対象	本学 DD プログラムにより台湾へ留学する日本人学部生
奨学金	最大 80 万円
採用者数	最大 2 名

(6) 千田吉郎記念海外留学奨学金

本学校友である故・千田吉郎（ちだきちろう）氏（1949 年高等師範部卒業）の遺志により、海外に留学する優秀な学生を支援することを目的として 2015 年度に新設されました。

対象	留学センターの CS プログラムで 6 か月以上海外留学を行う、所定の修業年限内の学部生のうち、経済的支援を必要とする優秀な日本人学生。 （永住者、特別永住者、定住者、永住者・特別永住者の配偶者および子を含む）
奨学金	100 万円
採用者数（予定）	2 名

(7) 高城幹記念海外留学奨学金

株式会社タカギ代表取締役のご尊父である故・高城幹（たかぎみき）氏の遺志により、アメリカ合衆国に留学する優秀な学生を支援することを目的として、2015 年度に新設されました。

対象	留学センターが提供する留学プログラムによりアメリカ合衆国の協定校へ 6 か月以上の海外留学を行う経済的な支援を必要とする日本国籍を有する優秀な学生（DD プログラム学生の場合は初年度のみ給付）
奨学金	100 万円
採用者数（予定）	2 名

※ 採用者は、留学前に㈱タカギにて行われるオリエンテーションのほか、帰国後 2 週間のインターンシップまたは帰国後報告会に参加していただく予定です（交通費、滞在費は会社負担）。また、留学中は月間報告書を執筆していただきます。

(8) 荒井孝晋海外留学奨学金

本学校友である故・荒井孝晋氏のご尊母である春子氏より、修士課程の学生で、シカゴ大学にて MBA を取得するために留学する有能な学生を支援することを目的として設置されました。

対象	早稲田大学大学院修士課程に在籍し、シカゴ大学に 1 学期以上留学する学生。日本国籍を有すること。
奨学金	18 万円
採用者数	1 名

9. 査証（ビザ）取得について

- 査証（ビザ）および滞在許可は渡航先国の目的において定められた入国や滞在に必要な書類の一部であり、各国の移民法に準じて定められています。
- 査証の取得に関する諸条件をはじめ、その手続き（申請）方法、必要書類（申請書等）や申請費用などにおいても全て渡航先国によって異なり、またその条件等は予告なく変更されます。
- 留学先ごとの査証取得の際、残高証明、翻訳証明、銀行口座通帳等の提出を必要とする国もあり、諸手続の際はそれらの書類を速やかに準備しなくてはなりません。留学を希望する国の大使館や関連ホームページで必ず最新の情報（必要書類・申請料・申請期間等）を得るようにしてください。
- 査証取得の手続きの責任は、全て申請者に委ねられていることをご理解ください。

◆オーストラリアのプログラムに関して◆

- ・日本国籍保有者以外のオーストラリアの留学ビザ申請には、IELTS や TOEIC など各協定校が要求するスコアをあらかじめ取得していることが条件となります。
- ・したがって、協定校の要求 TOEFL スコアをクリアして早稲田大学内の選考を通過し本学の候補者となった場合でも、その後必ず TOEFL 以外の指定試験を受験して所定の要求スコアを取得することが必要です。指定試験の所定スコアをクリアしないとビザの申請をすることができず、結果的に渡航不可となりますので十分ご注意ください。
- ・なお、ビザ申請についての情報は予告なく頻繁に変更されますので、オーストラリアの協定校へ出願される場合には最新情報をご自身でもしっかりと確認し取得するように努めてください。
- ・オーストラリアのビザ申請詳細ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.immi.gov.au/>

◆イギリスのプログラムに関して◆

- ・語学要件として IELTS のみを指定している大学に出願される方は、要求されている IELTS のスコアを学内選考出願の時点で提出する必要があります。
- ・語学履修を含む一部 EX プログラムおよび CS-L プログラムについては、IELTS for UKVI という通常の IELTS とは異なるテストスコアの取得が必要となります。

【参考】

UKVI : <https://ukvi-international.faq-help.com/>

British Council : <http://www.britishcouncil.jp/>

日本英語検定協会 : <https://www.eiken.or.jp/ielts/>

10. 留学中の単位について

- 全てのプログラムにおいて、前提とされる科目（Pre-requisite）を履修していない場合や、履修人数の制限により、留学先大学において希望の学部での履修が認められない、もしくは受講を希望する科目に登録できないことがあります。
- プログラムは、皆さんが学ぶに値すると留学センターが判断した内容になっていますが、現地大学で取得した単位が早稲田大学の所属学部・研究科の単位として、自動的に認定されるわけではありません。
- 留学先大学での取得単位がどれだけ早稲田大学での単位として認定されるかについては、各所属学部・研究科の判断に委ねられています。標準修業年限（学部は4年）での卒業が保証されてはいませんので、事前に所属学部・研究科にもよく相談して、誤解のないようにしてください。
- 単位認定は自らが申請しない限り、自動的にには行われませんので、手続きの詳細をよく確認してください。

1 1. 危機管理について

(1) プログラム選択時の海外での安全情報の確認

- 「留学の手引き(日本語版) 2016-2017」p33 記載のとおり、留学先地域の検討に際しては、自分自身で地域の安全情報を確認するとともに、現在の国際情勢では、渡航、滞在中も常に注意が必要であることに留意してください。
- 外務省では、海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>) で、地域別国一覧から、その国の最新の海外危険情報、過去の情報データベース、多発している事件の傾向と対策など、きめ細かな渡航情報を提供しています。
- 「危険情報」が出されている地域もありますので、当該地域を留学先として検討している場合には、自己責任がとれる範囲内で学習や研究上の必要性を勘案したうえで出願してください。

(2) 早稲田大学義務付け海外旅行保険への加入

- 留学センターの留学プログラム(短期プログラム含む)に参加する学生は、本学の指定する海外旅行保険(東京海上日動火災の海外旅行保険)への加入が義務付けられており、加入しない状態での留学は認められていません。
- 本学指定の海外旅行保険は、一般的な保険料よりも安くなっています(12ヶ月で137,730円/2016年9月現在)。
- 留学先大学においても健康保険や医療保険への加入を求められる場合には、早稲田大学義務付け保険加入と併せて、必ず現地保険への加入が必要です。留学する国、留学先大学や期間によっても異なりますが、留学期間中の保険料として小額な場合で3万円から、高額な場合だと20万円程度必要な場合があります。
- 精神的疾患、歯の治療費、また持病と見なされる場合(既往症)には早稲田大学が加入を義務付けている保険の補償対象外となります(その他の補償対象の有無は保険補償規定に準じます)。
- 本学義務付け保険の保険料は、前年度における事故損害件数や補償額により変動します。保険料のお支払いについては、留学手続き開始後にすみやかに指定の保険代理店口座へお支払いをいただく必要がありますので、あらかじめご了承ください。なお、2017年度の正式な保険料確定は12月下旬以降となる予定です。

(3) 海外用携帯電話レンタルサービスへの加入

- 留学期間中の様々なリスクに対応するために、留学をする学生全員へ留学センターが包括契約をする海外用携帯電話レンタルサービスに必ず加入いただきます。
- 登録費用や毎月の基本料は原則として全て無料です。
- お支払いいただくのは、使用した通話料、および通信料(ショートメール料金含む)のみとなります。ただし、通話料は国により異なるほか、インターネット利用による通信料は、国によって高額となる可能性がありますので注意してください。
- 加入手続きの際は、清算に必要なクレジットカードの登録が必要です。

12. 出願準備 チェックリスト

※提出不要

	チェック内容	期限	チェック
1.	募集要項の熟読	出願前	
	・スケジュールや、プログラムによる選考の違いを確認		
2.	プログラムリスト、プログラムオーバービューの確認	出願前	
	・自身の GPA の計算（学内選考用） ・志望するプログラムでの TOEFL、IELTS、GPA、国籍等の制限がないか確認 ・留学先大学の学部ごとに決められている要件を満たしているか確認		
3.	語学試験の公的証明書の準備	出願前	
	・証明書の取り寄せ ・TOEFL/IELTS のセクションスコア、各プログラムの要件を確認		
4.	WEB 出願登録	10/11 ～ 10/23 正午	
	・早めに登録を済ませる ・登録するプログラムの種別（EX or GS, R or L）言語を確認 ・登録後のメール受信確認		
5.	エッセイテストの受験	10/15 (土)	
	・GLFP, DD, Advanced Scholars' Program は受験必須 ・WEB 登録完了していなくても出願予定であれば受験		
6.	出願書類提出	10/26 (水) ～ 10/28 (金)	
	☐ 海外留学プログラム誓約書 ☐ 英文成績証明書 ☐ <英語> TOEFL, IELTS 等のスコアシート ☐ <GLFP> GLFP 専用誓約書 ☐ <GLFP> 英文志望理由書 ←提出日 10/18! ☐ <AIMS7> AIMS7 専用誓約書 ☐ <AIMS7> 英文 GPA 証明書 ☐ <非英語> 該当言語の公的試験証明書 ☐ <大学院生> 海外留学募集出願 大学院生推薦状 ☐ <特定プログラム> 海外留学募集出願 特定プログラム推薦状 ・自身の控えとしてコピーを取る、所属学部・研究科の提出日を確認		
7.	面接試験の受験	11/12 (土)	
	・GLFP, DD, Advanced Scholars' Program, 非英語 EX-R、特定プログラムは受験必須（特定プログラムは別日に実施） ※非英語 EX-R はすべてのプログラムの語学要件を満たす公的証明書を出している出願者は受験免除		
8.	選考結果発表の確認	12/2 (金)	
	・MyWaseda にて選考結果の確認		
9.	候補者決定オリエンテーションの参加	12/8 (木)	
	※GLFP は 12 月上旬～中旬にもオリエンテーションあり		